

中期標準化戦略(概要と目的)

専門委員会・AG名

ICTと気候変動SWG

1/3

企画戦略委員	山田 徹 (NEC)、澤田 政宏 (ドコモ)	登録委員数	11人/4社
正副委員長 リーダー・サブ	リーダー 飯橋真輔 (NTT)	図解	
活動の目的・意義	<ul style="list-style-type: none"> ICT設備のエネルギー効率の評価やスマートエネルギー実現要件、廃棄物削減への各種要件の整理、評価方法の構築に加え、ICTを活用することによる環境貢献の評価方法を構築などにより、ICT自らの環境負荷低減や他セクタへ与える環境貢献を訴求するとともに持続的な社会実現に貢献する。 環境課題への貢献の定量化手法は、その妥当性の検証が困難であり、標準化の枠組みにて、国際社会間での合意を形成することが有効。 		
活動する上での課題	<ul style="list-style-type: none"> SDGsをはじめとする目標が設定されており、その達成度や貢献を示すための定量化手法が望まれているが、気候変動の緩和を除いて、その貢献量を定量化する手法・技術が未開発の状況。 国内で新たな評価手法が開発された場合はいち早くアップストリームするとともに、国外で有益手法があれば速やかにダウンストリームするなど、情報を流通させることが必要。 		
関連のSDGsゴール			
標準化方針	<ul style="list-style-type: none"> SG5は今年度、新しい会期に移行する。課題は、今期の課題を現状にあわせ整理・統合したものである(別紙参照)ことから、引き続き以下の方針で取り組む。 簡易な環境影響評価手法の検討、デジタルテクノロジーの進化に伴う効果やその評価のあり方の変化に対応した評価手法の検討、また、気候変動適応におけるICTソリューションなどは日本に先行優位性がある分野と考えられ、それらの領域に注力して推進する。 新設される課題は、スマートシティ・コミュニティに関するものであることから、これまで以上に親委員会と情報共有を深める。 		
国内外標準化団体動向	<ul style="list-style-type: none"> 欧州委員会は、EUのグリーンICTを推進している。ETSI、IEC、ITU-Tなど、代表的な標準化団体で策定されていく気候変動に関する標準規格を域内の規制に利用。 ISOでは、ISO/TR14069「温室効果ガス－組織のGHG排出量の定量化及び報告－ISO 14064-1に対する技術的手引」を発行。 		

WTSA-20において提案されているSG 5 WP 2「ICTと気候変動」の次会期の課題案(別紙)

WTSA-20において提案されている、SG 5 WP 2「ICTと気候変動」の次会期の課題案

番号	課題名	概要	旧課題との関係
E	デジタル技術の環境効率	ICTとデジタルテクノロジーに対する環境効率および要件検討。	旧課題6の一部
F	気候変動緩和およびスマートエネルギーソリューション	スマートエネルギーシステムに対する開発、管理、エネルギー効率促進の指標、ガイドラインの検討。	旧課題6の一部
G	電子廃棄物、サーキュラーエコノミー、持続可能なサプライチェーン管理	電子廃棄物におけるサプライチェーンマネジメントおよび回収プロセスの要件検討。	旧課題7
H	持続可能でレジリエントなデジタル技術を通じた気候変動適応	ICTインフラの気候変動適応ならびに、ICTの他セクタへの貢献の要件検討、事例収集。	旧課題6,9の一部
I	気候変動、およびSDGsとパリ協定のフレームワークにおけるデジタル技術の評価	ICTの気候変動ならびに生物多様性への貢献について要件、評価法を検討。	旧課題9の一部
J	循環型の持続可能なシティおよびコミュニティの構築	循環型都市へ移行する際のICT活用のフレームワークやツールの要件を検討。	新設
K	環境と気候変動に関するガイドと用語の定義	勧告、環境と気候変動に関するガイドと用語の定義。	旧課題8

重点取り組みと成果	日本としては引き続き、気候変動への適応策、ICT持続可能評価、エネルギー効率測定法に関わるテーマを中心に、標準化対応および成果普及を重点的に進めることとし、国内の省資源化事例1件を寄書化した。			
主な活動項目	概況指標	2019年度目標（当初計画時）	2019年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	0件	1件	
	外部会合への 参加・連携状況	SG5会合：5月 SG5 WP2会合：10月	SG5会合：3月（2020） SG5 WP2会合：10月	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS： 0回 TR： 0回	TS： 0回 TR： 0回	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	セミナー 1回（R2/3Q） （親委員会に協力する形で実施）	0回	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告	TTCLレポート活動報告	

新テーマ及び重点取り組み	・ 日本としては引き続き、気候変動への適応策、ICT持続可能評価、エネルギー効率測定法に関わるテーマを中心に、標準化対応および成果普及を重点的に進めることとする。			
関連する専門委員会とその内容	・ Iot・スマートシティ専門委員会（循環型の持続可能なシティおよびコミュニティの構築）			
主な活動項目	概況指標	2020年度目標（当初計画時）	2020年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	0件	-	
	外部会合への参加・連携状況	SG5会合：3月（2020） SG5 WP2会合：10月		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS：0回 TR：0回	TS制定 TR制定：	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	セミナー 1回（R2/3Q） （親委員会に協力する形で実施）		
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告		